

平成27年6月28日  
今週のベストショット



雁レク野球場4 三苦フレンズ 対 三苦ホーネッツ戦

二回裏、ホーネッツ四番広木選手の満塁HRが炸裂！ホームで出迎える矢野選手(右)。

写真：奈多サンデーズ 田中孝幹

奈多グラウンド 雁ノ巣ライナーズ5点差をひっくり返し、見事逆転勝利！

三友クラブ (2勝3敗) 06000 6 ●安達一柿崎

雁ノ巣ライナーズ (4勝1敗) 10701X 9 ○有馬一明瀬(航)

HR：鳥越(雁ノ巣) 3BH：鳥越(雁ノ巣) 2BH：柿崎(三友ク)

一回裏、雁ノ巣ライナーズの先頭打者、明瀬旭選手が見事なセーフティバントにキャッチャーの悪送球も重なり一気に三塁へ！その後二番明瀬航選手のライト前ヒットで1点を先制。しかし、二回表、三友クラブは、六番坂本選手のセンター前ヒットを皮切りに、ヒット、内野安打、さらにエラーも重なり一挙6点が入り逆転！三友クラブはその裏を0点に抑え、ゲームの主導権を握ったかと思われたが、三回裏、雁ノ巣ライナーズは、明瀬旭選手の今日2本目のセーフティバントから、相手のエラー、悪送球があり、塁がたまったところで、七番鳥越選手の左中間に見事なホームランもあり7点を返し、一挙に逆転に成功。雁ノ巣ライナーズの有馬投手は、二回こそ6点を許すも、それ以外は0点に抑え、終わってみると、5点差をひっくり返した雁ノ巣ライナーズが見事な逆転勝利をおさめた。(記事：奈多クラブ 木伏陽一郎、写真：今林祐将)



惜しくも敗戦投手になったものの、真っ直ぐのキレは一流の三友クラブ安達投手。



二回に6点を許すも、それ以外は0点に抑えた勝利投手のライナーズ有馬投手。



相手投手を揺さぶる、三友クラブ竹岡選手。



シャープなバッティングを見せる、ライナーズ中口選手。



うまく流しショートに内野安打の三友クラブ山本選手。



セーフティバントを試みる、ライナーズ明瀬航選手。



強打者ライナーズ宇野選手対好投手三友クラブ安達選手の迫力ある対戦。

## 青松園A あわや・・・。

レッドサンデーズ（5敗）0000000 0 砂場●ー前田

三苦三球会（4勝1敗）100103X 5 吉留○ー藤澤

2BH：八島（レッド）

先攻のレッドサンデーズは、昨年の首位打者、江口選手をトップに据えるが三者凡退に抑えられる。その裏、三球会は先頭の藤澤選手が四球で出塁すると、続く浜口選手がしぶとくセカンド右への内野安打で続き、砂場投手のワイルドピッチの間に、幸先よく先制点を挙げた。反撃に燃えるレッドサンデーズだが、球威十分の三球会、吉留投手の前に、四回まで一人のランナーも出すことができない。一方の三球会は、四回裏、安打で出塁した堺達也選手をきっちり犠打で進塁させると、またもやワイルドピッチで追加点を挙げ、接戦ながらも試合を有利に進めていく。しかし、ようやく五回表、レッドサンデーズ主将の四番八島選手がバット一閃、この試合で両チーム唯一の長打を左翼線に放ち、完全試合を阻止するが、後続が続かない。続く六回にも二死ながら四球と内野安打2本で満塁の好機を演出したが、どうしても吉留投手の前に決定打を放つことができない。両投手の好投で引き締まった好ゲームが続いていたが、六回裏、三球会が3点を追加し、この試合の帰趨が決定した。三球会は堅い守りと投手力で勝利を得た一方で、レッドサンデーズは砂場投手が好投するも失策が得点につながり、悔しい結果となった。（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：橋村明浩、一部ブルーマーリンズ阿部さん）



レッド打線を完封した三球会吉留投手。



六回裏、二番濱口選手の右飛がエラーを誘い5点目が入る。



四回表、吉留投手のパーフェクトピッチングを破る  
レッド四番八島選手の左線二塁打。



六回表、絶妙なセーフティバントで出塁するレッド二番  
川原選手。



リーグ最年長レッド田浦選手（72）のバッティング。



試合後の握手。昨年3位のレッドは1勝が遠い。



勝利投手と監督と育成選手の3ショット。

#### 雁レク野球場4 勝負を決めた満塁アーチ！

三苦フレンズ（2勝3敗）1002 3 生野(拓)●一佐藤

三苦ホーネッツ（4勝1敗）2531X 11 矢野○一広木

HR：広木(三苦ホ) 3BH：生野(拓)(三苦フ) 2BH：竹崎(三苦ホ) 盗塁：山崎、矢野、広木(三苦ホ)

昨日の雨で、グラウンドコンディションの悪い中プレーボール！初回フレンズの攻撃は野球場ということで、プレートがないことも重なって、立ち上がり絶不調の矢野投手を攻め二つの四球とヒットで無死満塁のチャンス！四番山口選手がきっちり外野フライを打ち、幸先よく1点先制！なおもパスボールで一死二三塁とチャンスを広げたが、そこは落ち着きを取り戻した矢野投手、三振と一ゴロで後続を抑えた。その裏ホーネッツも反撃。エラーとバントヒットと四球で一死満塁。続く五番松尾選手が三振し、六番今田選手の打席！ここでなんと三塁ランナー山崎選手がホームスチール！自慢の足を活かし同点とする。今田選手もライト前ヒットを放ち一気に逆転！二回表フレンズはランナーを出すも得点できず。その裏ホーネッツは二つの四球と九番竹崎選手の二塁打で満塁とし、三番矢野選手が押し出しで1点追加！もうこれ以上点はやれないフレンズ。しかしここで四番広木選手が2ボールからの三球目！左中間を深々と破る満塁ホームラン！試合を決めるホームランとなった。その後ホーネッツはフレンズ打線を2点に抑え、さらに得点を追加し終わってみれば11対3でホーネッツの圧勝だった。

(記事、写真：奈多サンデーズ 田中孝幹)



ホーネッツ先発の矢野投手。



フレンズ先発の生野(拓)投手。



前日までの雨で、最悪のグラウンドコンディションでした。



タッチアップで先制点を挙げるフレンズ生野(拓)選手。



二回裏、ホーネッツ広木選手の当たりで満塁の走者が生還。



満塁ホームランの広木選手と出迎える矢野選手。



ホーネッツ中村監督から「ご苦労さん！」とねぎらいを受ける広木選手。

青松園Bの奈多フェニックス対ブルーマー  
リズ戦はグラウンド不良のため中止です。

## 第9週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第9週、6月28日はグラウンド不良で1試合が中止のため、3試合が行われました。

奈多グラウンドの三友クラブ対雁ノ巣ライナーズ戦は、お互いビッグイニングを作る攻防。1点を追う二回表、三友クラブがヒット3本に相手ミス、四死球に乗じて6点を挙げれば、負けじと三回裏ライナーズは、一番からの好打順で6本を連ね7点を取り逆転。ライナーズ一番明瀬旭選手、二番明瀬航選手、七番鳥越選手、八番有馬選手の四人がマルチヒットでチーム全安打を叩き出した。投げては、ライナーズ有馬投手が6点を取られたものの、その粘り強い投球が勝利に繋がった。

青松園Aのレッドサンデーズ対三苦三球会戦は、三球会エース吉留投手とWSL初マウンドのレッド砂場投手の対決。初回を難なく三人で抑えた吉留投手に対し、レッド砂場投手は、先頭打者を四球で歩かせると、内野安打にWPで簡単に1点を与えてしまう。四回までパーフェクトピッチングの吉留投手に対し、砂場投手は四回裏、先頭の堺達也選手をヒットで出すとまたしてもWPで2点目を与えてしまう。何とか援護したいレッドは五回表、先頭の四番八島選手がパーフェクトを破る二塁打で出るも二塁釘づけで無得点。レッドは六回表も二死満塁とするも吉留投手が要所を抑え、その裏3点を挙げた三球会が0-5の完封で4勝目。投手としてのキャリアの差をまざまざと見せつける試合となった。次回レッドは江口投手との継投を駆使して1勝目を狙いたい。

雁レク4の三苦フレンズ対三苦ホーネッツ戦は、初回にじっくりこないホーネッツ矢野投手の立ち会がりを攻めたフレンズだったが1点しか挙げられなかった。逆にホーネッツは足と打力を活かしすぐさま逆転すると、二回裏、四番広木選手の満塁HRを含む5得点で一気に試合を決めにかかる。三回裏にも3安打を集め3点を挙げたホーネッツは、四回表に2点を取り追いすがるフレンズを下し、3-10で完勝。この試合、昨季のプレーオフでホーネッツを破った奈多サンデーズが審判を務めたが、どのように映ただろうか？

第9週を終えて、4勝1敗で三苦ホーネッツ、雁ノ巣ライナーズ、奈多サンデーズ、三苦三球会、新町パイレーツが並んで首位。これに奈多クラブ、フェニックスの実力チームが続くという構図。区切りの10週目にどこが抜け出すか？

サッカー女子ワールドカップで、なでしこJAPANが、前回唯一敗れたイングランドを破り、二大会連続で決勝進出を決めました。

決勝の相手は、前回と同じアメリカです。

前回の2011年は延長戦でも決着がつかず、PK戦でなでしこがワールドカップを手にしました。

しかし、2012年のロンドン五輪では決勝でアメリカ相手に涙の銀メダルでした。

因縁の決着をつけるべく、なでしこには大輪の花を咲かせてほしいです！

アメリカとの決勝戦と言えば、2008年の北京五輪の女子ソフトボール決勝が思い出されます。

あの試合も熱かった！

2020年の東京五輪で復活するかもしれないソフトボールですから、我々WSLも盛り上がり、微力ながら正式種目化に拍車を掛けたいものですね。

そのためには、未だ未勝利のレッドサンデーズ、ソルトベイスターズ、ブルーマーリンズは、1勝する手立てを考えましょう！

明日の7月5日には、そのレッドサンデーズ対ソルトベイスターズ戦が組まれています。